

支援する会ニュース

2022. 2. 10 NO. 68

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野 1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

サンケン電気は、尾澤裁判から逃げるな！！

2月3日に第67回木曜行動がのべ90人の参加で取り组まれました。寒さも一段落のこの日、多くの参加がありました。韓国では2月1日がお正月、前後3日間が連休となりましたが、争議当該にとっては楽しめない日々だったと思います。この連休に埼玉市民の会の本社前スタンディングが1月31日にあり、韓国からは「自分たちが休んでいるのに、ありがたい」という声が寄せられました。『週間金曜日』2月4号にサンケン闘争の記事が掲載され、保釈を勝ち取った尾澤夫婦の抱き合う写真や尾澤さんへのインタビューが載りました。

〔本社正門前〕



支援する会の仲間の発言で行動開始。韓国からキムミョンデさんが「サンケン電気は本社の周りの住民の皆さんに

もう二度とこのような不祥事を起こさない、お騒がせすることは二度とないとのチラシを回し、住民の皆さんに迷惑をかけないと言っていたにもにもかかわらず、またこのような事態になってしまった。日本は本来約束を守る国だというのが、サンケン電気はそのような約束も違えている。…韓国国会で外国人投資法の改正を要求する法案の動きも加速している。韓国国会で外国企業に対する横暴を規制する法案が通るよう私達もこれからは闘いを続けていく」と話しました。韓国からはオヘジンさん、キムウニョンさんもアピール。埼玉市民の会からは節分ということもあり、サンケン電気の経営者を「鬼」だとする発言があり、旭ダイヤモンド工業の仲間からアピール後、「鬼は外！」と怒りのシュプレヒコールで行動終了。

〔志木駅南口前〕

この日も似顔絵パネルや横断幕が駅頭を埋めるなか、埼玉市民の会の仲間のアピールで行動開始(写真右)。韓国からはペクウンジュさんが「韓国の労働者が疲弊して闘いを諦めるだろうと思っているのかもしれないが、決してそんなことはない。サンケン電気の決断のみが残されている。直ちに決断を下して私達との話し合いに応じ、そして、私達に謝ってください」と発言。ヤンソンモさんも「私達が休んでいる間も日本の埼玉市民の会の皆さんが本社の前でスタンディングをずっとやってくだ



さっていた。私達の闘いに連帯してくださって本当に有難うございます。皆さん方も2022年良い年になることを祈っています」と感謝の言葉。韓統連の仲間が韓国大統領選挙に言及して野党「国民の力」の尹候補を批判しました。ゆいの会などによる「朝露」の替え歌が披露され、サンケン太郎さんの歌が披露されました。明大生協労組の挨拶で行動終了。

〔池袋・東京営業所前〕

渡辺共同代表の発言でスタート。日本からは埼玉市民の会、尾澤孝司さん、全労働者組合がリレートーク。韓国からはキムヒョンガンさんが「2016年には整理解雇で私達を解雇しようとしたが、これが失敗すると今度は会社を丸ごと潰して私達を切り捨てようとしている。サンケン電気はこのコロナの状況を利用して私達を解雇した。恥知らずなやり方だ」と批判。キムウニョンさんもアピールしました。池袋に怒りのシュプレヒコールが響きました。

尾澤裁判、弁護・検察の攻防が続く

年末に保釈を勝ち取った尾澤さんには①サンケン電気本社への接近禁止、②証人予定のM氏との連絡禁止、③旅行、引っ越しの届け、といった保釈条件が付けられ、完全な自由は奪われたままです。

2月2日に5回目の公判前整理手続きが行われましたが、証人採用などについて合意できず、初公判日を決められませんでした。単純な暴行事件としたい検察側に対し、韓国サンケン争議との関連審議なしには公正な裁判はできないとする弁護側との攻防が続いています。特に警察を呼んだサンケン電気社員S氏の証人採用は必要です。次回の第6回公判前準備手続きは3月17日となりました。裁判の引き延ばしは、6月下旬予定の株主総会に株主の尾澤さんの出席を阻止しようとしていると思われます。サンケン電気は尾澤裁判から逃げられません。

